

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県 紀の川市

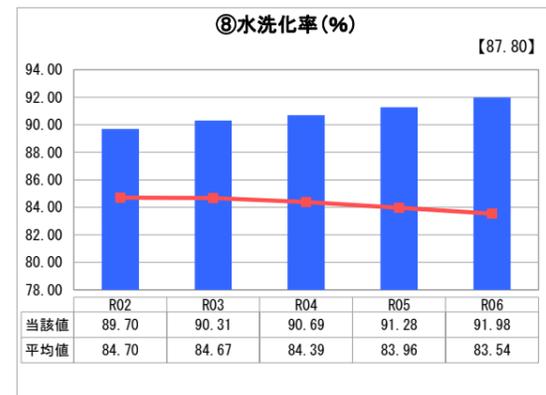
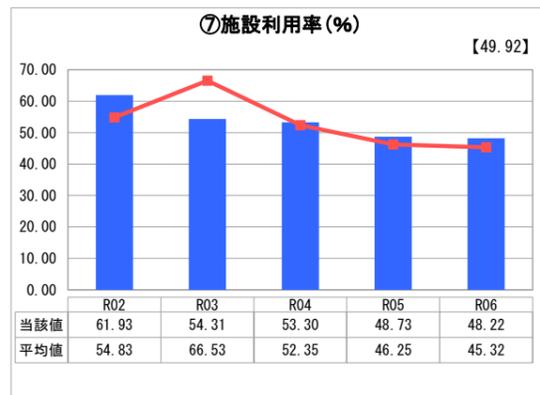
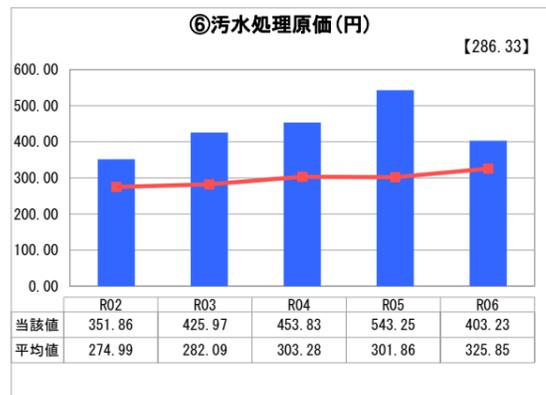
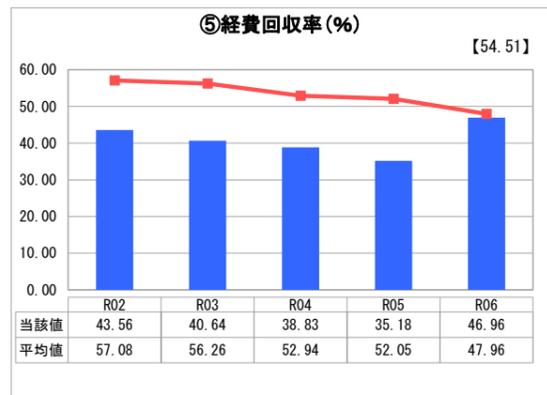
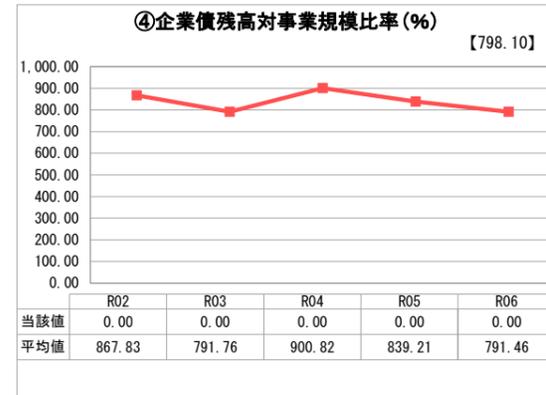
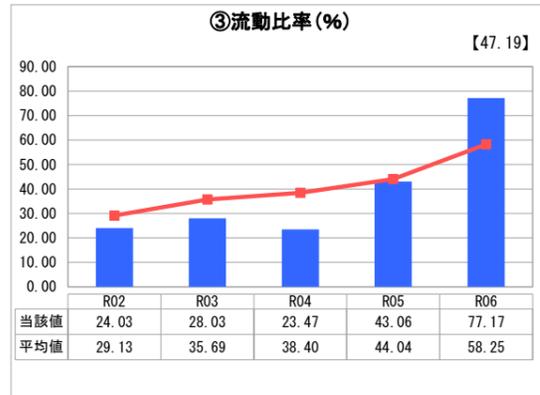
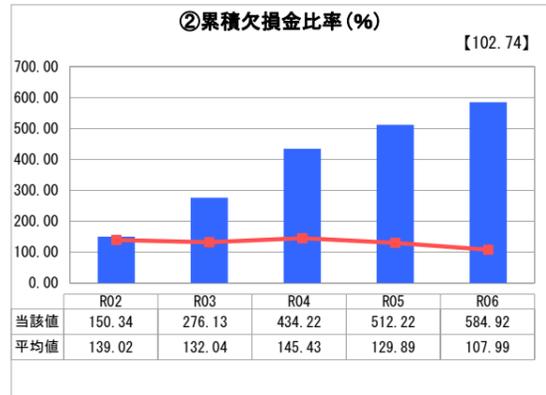
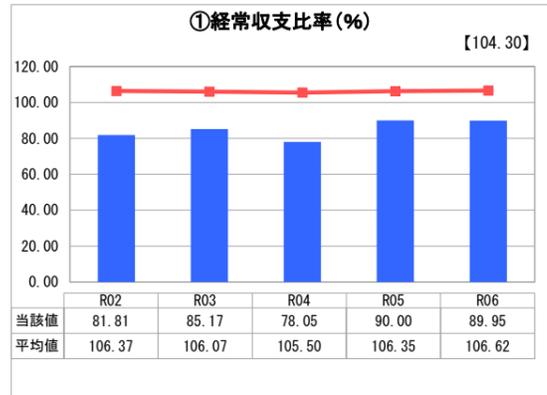
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	72.09	0.64	100.00	3,980

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
58,920	228.21	258.18
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
374	0.17	2,200.00

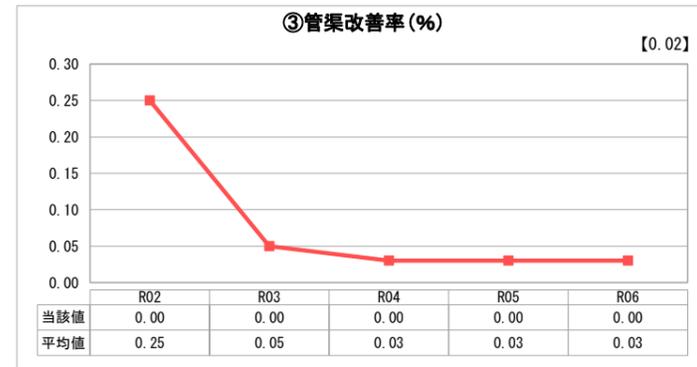
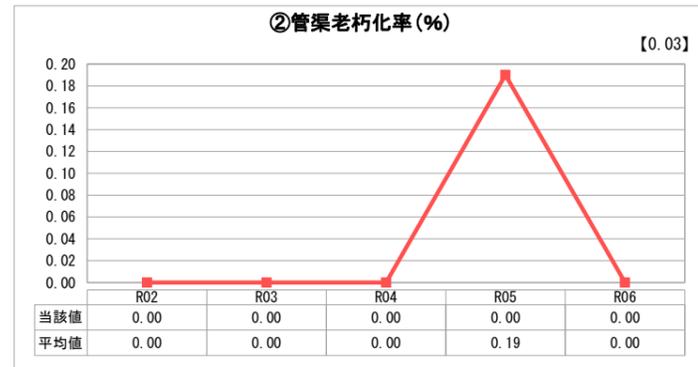
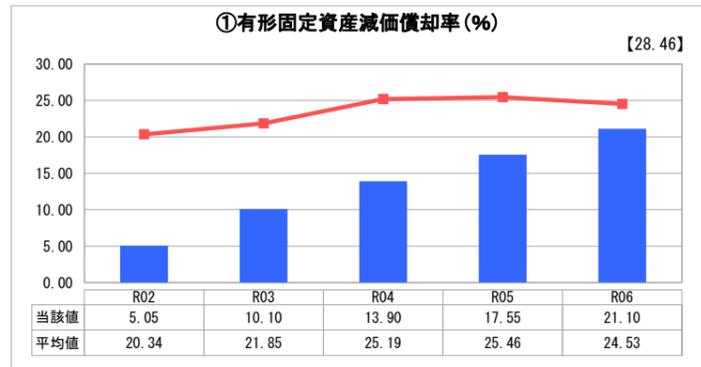
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
人口減少と高齢化により使用料が減少傾向にあり、一般会計からの繰入に依存しているため低い水準となっています。
- ② 累積欠損金比率
人口減少と高齢化により使用料が減少傾向にあり、施設にかかる経常的経費を賄えていないため、毎年欠損金が生じ、高い水準となっています。
- ③ 流動比率
一般会計からの繰入により運営に必要な資金を確保しています。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
事業運営にかかる資金不足額及び企業債残高は、一般会計が負担していくこととなっています。
- ⑤ 経費回収率
施設維持管理にかかる経常的経費を、使用料で賄えていない状況となっています。
- ⑥ 汚水処理原価
人口減少と高齢化により有収水量が減少しており、また、施設老朽化により維持管理費が増加傾向にあるため、汚水処理原価が高い水準となっています。
- ⑦ 施設利用率
人口減少に伴い利用率が低下しています。
- ⑧ 水洗化率
事業整備が完了しているため高い水準となっています。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
集落排水施設全体としては、低い水準となっています。
西山・善田の2つの処理区のうち、西山処理区については、供用開始から20年以上が経過し、施設更新の時期を迎えています。令和8年度に公共下水道への統合を予定しており、施設の廃止等により事業の縮小を図ります。

全体総括

人口減少と高齢化が今後も加速することが予想される中、一般会計からの繰入に依存する厳しい事業運営となっています。
今後、西山処理区の公共下水道への統合を行い、事業の縮小を図ります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。